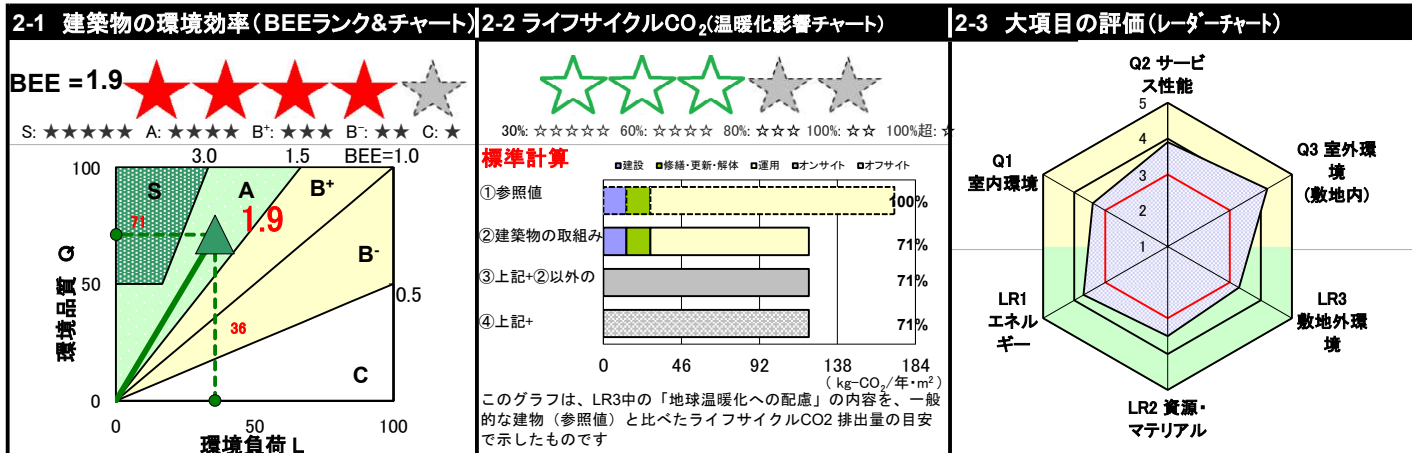


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

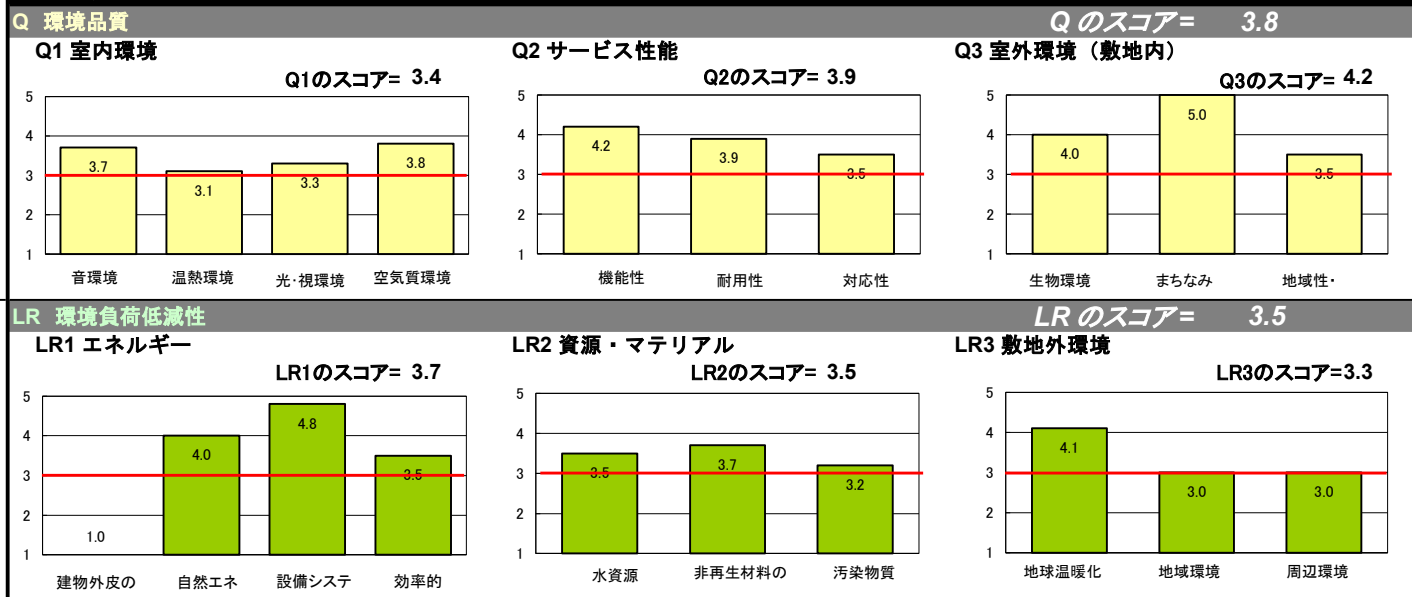
■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)天神1-7計画	階数	地上21F、地下4F
建設地	福岡県福岡市	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	XX 人
地域区分	7地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、ホテル、工場、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年12月 予定	評価の実施日	2023年12月8日
敷地面積	4,638 m ²	作成者	三菱地所設計
建築面積	3,959 m ²	確認日	2024年4月8日
延床面積	73,959 m ²	確認者	大浦 匡博

外観パース等

図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合	その他
福岡市建築物環境配慮制度(CASBEE福岡)にて、BEEランクAランクを取得し、CASBEE(新築:2016v4.0)にて、福岡市重点項目の「生物環境の保全と創出」「敷地内温熱環境の向上」の2項目について、レベル4以上の評価取得を行う。省エネ化したビルの整備や、ヒートアイランドへの配慮により、都市部への環境負荷低減を実現し、広域的な省エネルギー・省資源化を目指す。豊富な緑等により、人々や生物が共生し、潤いを感じられる豊かな環境を創出する。	新たな都市のランドマークとなる外観デザインを目指すとともに、自然環境への配慮や環境負荷低減を建築デザインに取り込み、再開発のロールモデルとなるデザインを目指します。
Q1 室内環境 外部にD800の庇+木製ルーバー設置。 高遮熱Low-eペアガラスの採用(北面のみ普通ペアガラス)。 オフィス基準照度:500lx 換気量30m ³ /h人 全館禁煙(喫煙ブース設置)	Q2 サービス性能 バリアフリー誘導基準への適合し、ユニバーサルデザインとする。 コンセプト明確化した内装デザインや、照明との整合性、モックアップによる確認などを実施し、高質な空間を創出する。 基準法の1.25倍の耐震性能確保。耐震クラスA。 BCP対策強化。
LR1 エネルギー 設備システムの高効率化に配慮。	LR2 資源・マテリアル 節水型器具の採用。 福岡市再生水の利用。 既存杭再利用。
	Q3 室外環境(敷地内) 外構緑化、建物緑化の取り組み強化。自動灌水設備。レインガーデンを設けグリーンインフラを整備。地区を彷彿とさせる外観デザインとし、新たな都市のランドマークを形成。
	LR3 敷地外環境 交通シミュレーションによる周辺交通環境の把握と予測に基づく計画。 グランドレベルの車路低減のため、隣接街区と車路共有化。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される